



## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2026 年 第 4 週（1月19日～1月25日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	8 人 類型 無症状病原体保有者 8 人 血清型 O157 1 人、O18 4 人、 O159 1 人、不明 2 人
四類感染症 E 型肝炎	3 人 推定感染地域 国内 2 人、不明 1 人
レジオネラ症	5 人 病型 肺炎型 5 人
五類感染症 ウイルス性肝炎	1 人 病型 その他（EBV）
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp. 3 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人
急性脳炎	1 人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人 血清群 B 群 1 人、不明 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	10 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 4 人
百日咳	19 人

年齢階級 0 歳 1 人、7 歳 2 人、8 歳 2 人、10 歳代 4 人、20 歳代 3 人、  
30 歳代 4 人、40 歳代 1 人、60 歳代 1 人、70 歳代 1 人

## 〈定点把握疾患の患者情報〉

インフルエンザ（12.23→22.18：図1-1～3）の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、全 17 保健所管内で前週の値を上回り、特に鴻巣（20.25→39.17）、東松山（13.00→30.00）保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、14 歳以下の報告が全体の約 69% であり、特に 10～14 歳で大きく増加した（約 18%→約 30%）。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は 14 人（前週 12 人）であり、前週と同水準であった。新型コロナウイルス感染症（2.39→2.75：図2）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。保健所別では、熊谷（2.67→5.56）保健所管内で大きく増加した。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 24 人（前週 20 人）であった。感染性胃腸炎（9.09→11.52：図3）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、多い状況にある。保健所別では、草加（7.14→17.00）、春日部（26.67→35.33）保健所管内で大きく増加した。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（2.76→3.65：図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、春日部（3.00→8.33）保健所管内で大きく増加した。急性呼吸器感染症（62.50→88.55：図5）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 2 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

## <インフルエンザ流行情報>

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

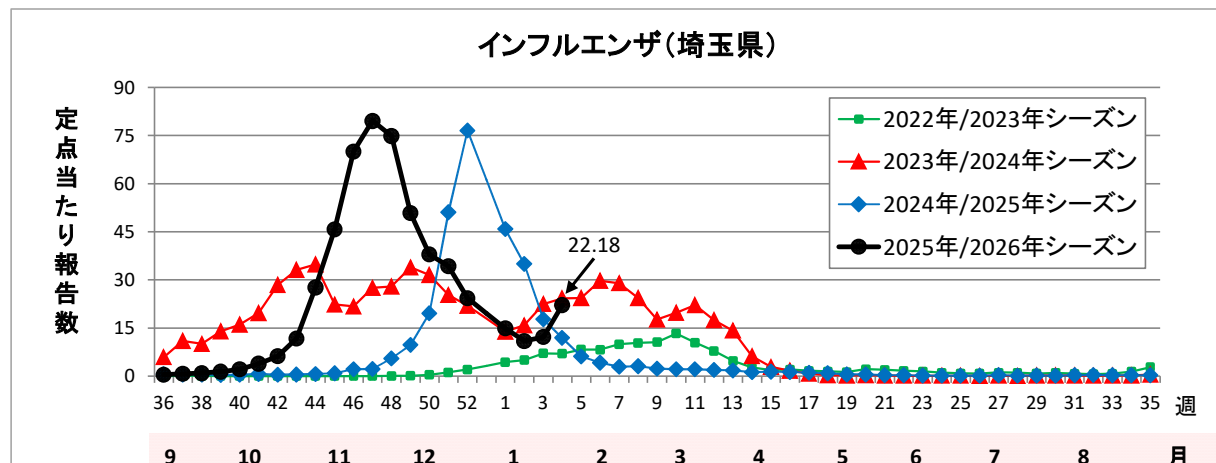


図 1-2 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数

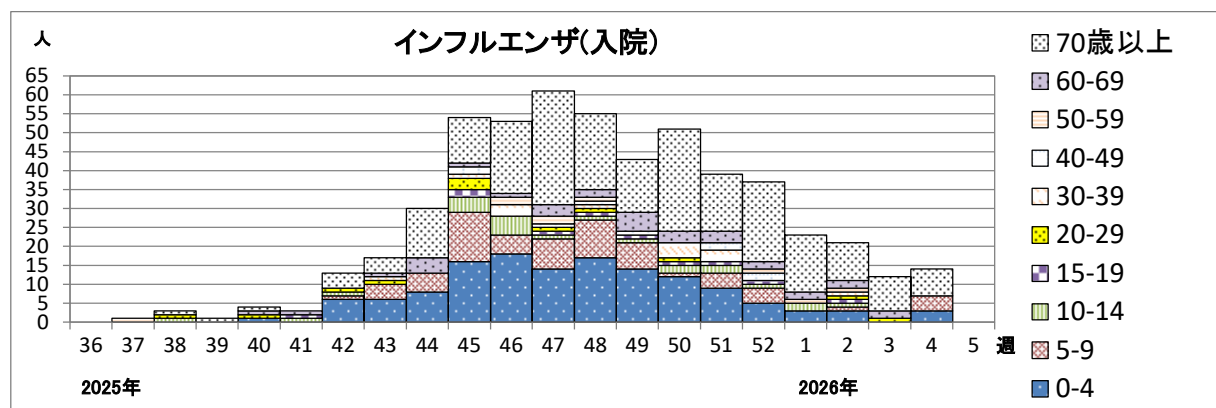
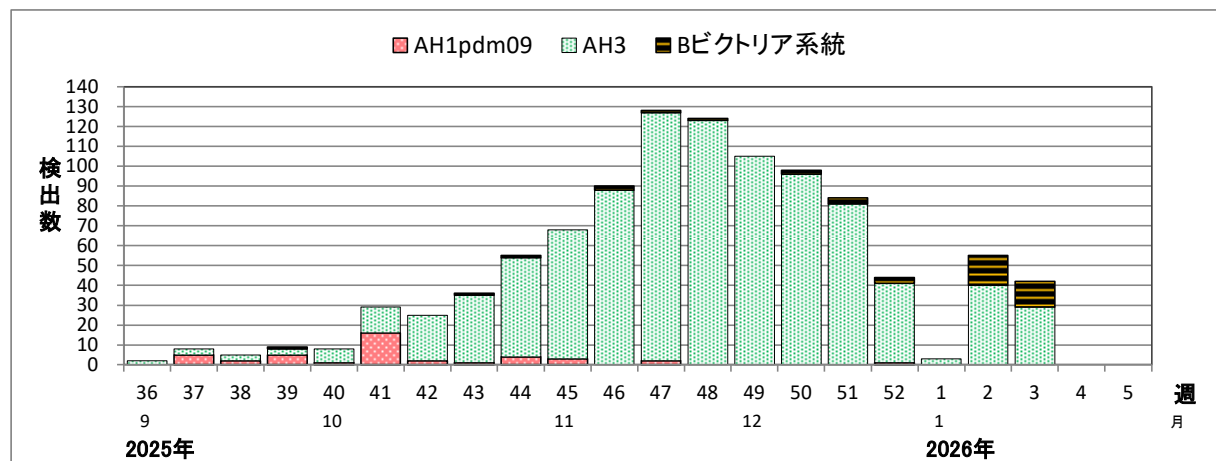


図 1-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2026 年第 2 週及び第 3 週に採取された急性呼吸器感染症検体のうち、インフルエンザが検出され型別が終了した 97 検体は、AH3 型が 69 件 (71.1%)、B ビクトリア系統が 28 件 (28.9%) でした。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

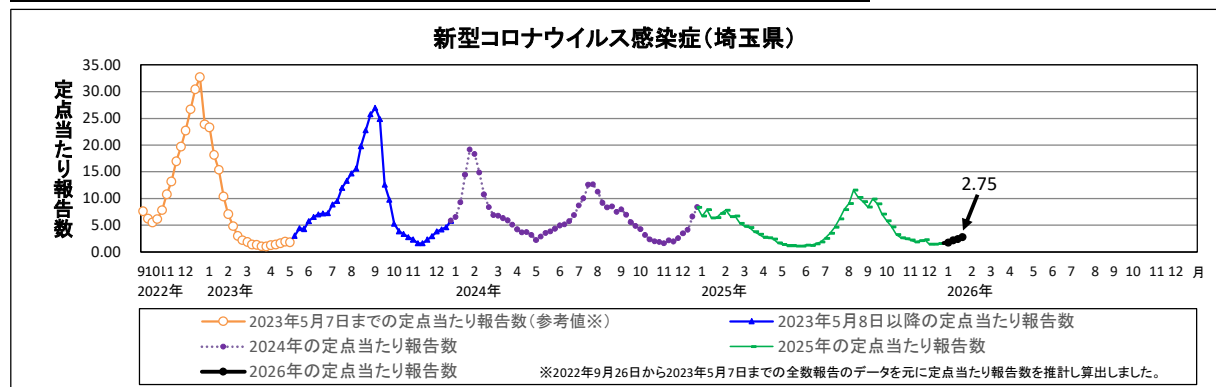


図3 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

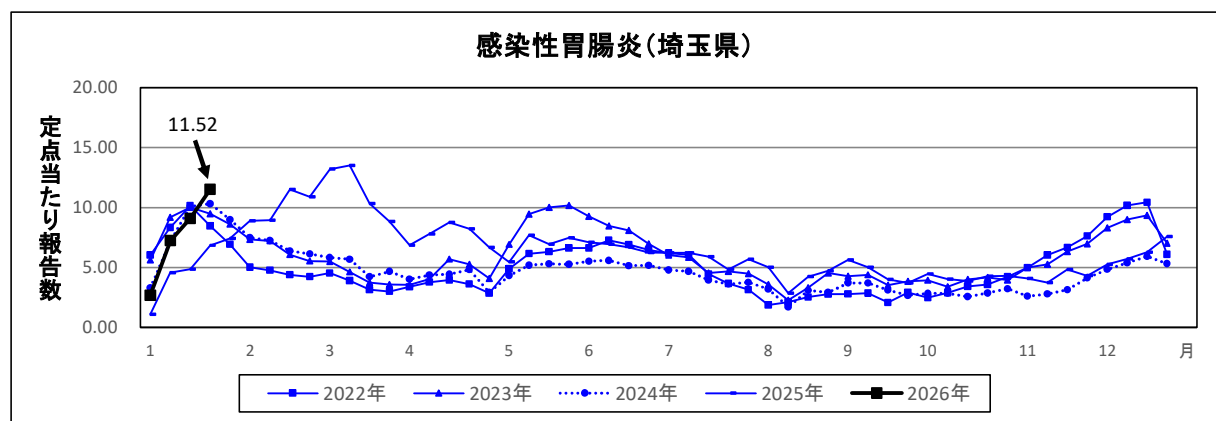


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

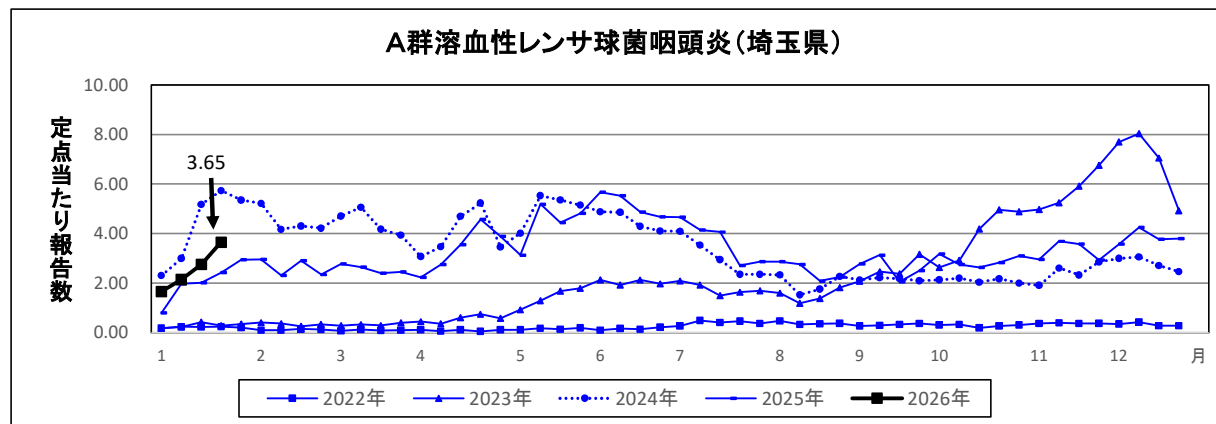
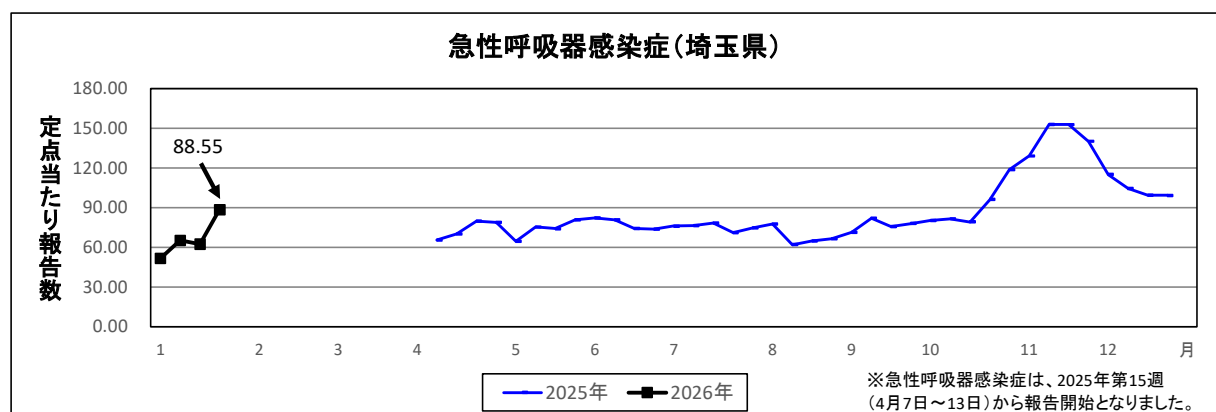


図5 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第4週)

(2026年1月27日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2025年 累計		今週 届出	累 計	2025年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			4
細菌性赤痢			5	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	8	14	181				
四類感染症							
E型肝炎	3	4	41	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			9	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムボックス				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	5	9	105
つつが虫病			4	レプトスピラ症			2
デング熱			5	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		2	16	侵襲性肺炎球菌感染症	3	9	154
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	5	12	水痘(入院例に限る)	1	2	29
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	6	67	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	5	梅毒	10	33	524
急性脳炎	1	2	71	播種性クリプトコックス症			4
クリプトスポリジウム症			1	破傷風		1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病			11	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	8	68	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			3
後天性免疫不全症候群		2	31	百日咳	19	57	4904
ジアルジア症				風しん			
侵襲性インフルエンザ菌感染症			23	麻しん			13
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	5	薬剤耐性アシネトバクター感染症			

累計は診断週で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。



感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数			年 齢 別										(2026年第4週										1月19日～1月25日)				
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～							
インフルエンザ #1	3,903	4	21	67	65	88	142	163	231	272	226	217	1,184	413	235	202	173	111	47	23	19							
新型コロナウイルス感染症	484	3	4	29	17	13	17	10	20	9	16	11	44	17	36	40	48	44	43	30	33							
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～															
急性呼吸器感染症	15,584	719	4,653	3,838	2,192	779	716	698	631	488	327	286	257															
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～													
RSウイルス感染症	54	8	11	22	7	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-													
咽頭結膜熱	26	-	-	7	6	1	5	1	1	-	-	2	2	-	1													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	405	-	2	7	17	27	54	43	48	40	41	31	70	8	17													
感染性胃腸炎	1,279	9	46	175	152	130	104	124	89	71	60	50	171	18	80													
水痘	48	-	1	-	5	2	5	3	3	5	8	8	7	1	-													
手足口病	8	-	1	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
伝染性紅斑	16	2	1	2	1	1	3	3	1	1	-	-	1	-	-													
突発性発しん	30	1	5	16	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-													
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	-	1	2	1	1	1	-	2	-	-													
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～								
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-								
流行性角結膜炎	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	1	3	-	1	1	-	-								
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～											
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1											
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
インフルエンザ(入院)	14	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7											
新型コロナウイルス感染症(入院)	24	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	-	1	2	-	-	17											

※ 表中の数値は各定点からの報告数（ - ： 0 ）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第1週 (12月29日～1月4日)

令和8年1月28日

## <全国情報>

**急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,210)**:インフルエンザの定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(38.71)、鹿児島県(23.19)、沖縄県(23.18)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,009例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(40例)、1～9歳(161例)、10代(47例)、20代(31例)、30代(20例)、40代(19例)、50代(36例)、60代(92例)、70代(182例)、80歳以上(381例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は北海道(4.51)、福島県(4.44)、秋田県(3.32)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は541例と前週と比較して減少した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(17例)、1～9歳(23例)、10代(4例)、20代(4例)、30代(5例)、40代(9例)、50代(19例)、60代(53例)、70代(145例)、80歳以上(262例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,215)定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(57.83)、群馬県(53.21)、福岡県(52.10)である。

**小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:1,951)**:RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岐阜県(1.08)、群馬県(0.93)、香川県(0.92)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.42)、山形県(0.55)、群馬県(0.47)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(1.97)、福岡県(1.84)、北海道(1.78)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(5.07)、群馬県(4.60)、福岡県(4.31)である。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、大分県(0.83)、茨城県(0.72)である。手足口病の定点当たり報告数は第38週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.32)、長崎県(0.23)、茨城県(0.21)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第50週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.85)、熊本県(0.67)、宮崎県(0.67)、香川県(0.46)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.08)、茨城県(0.07)、福岡県(0.07)、大分県(0.06)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岡山県(0.11)、群馬県(0.07)、鳥取県(0.05)である。

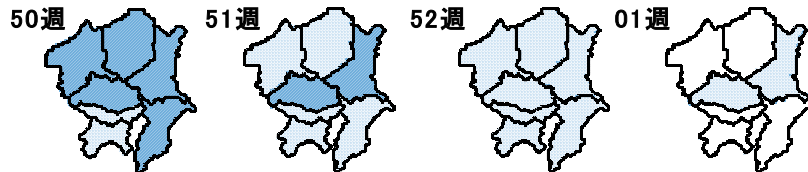
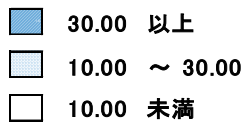
**基幹定点報告疾患**:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第50週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(1.63)、広島県(1.50)、鳥取県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。4都道府県から4例報告があり、年齢群別では1～4歳(3例)、5～9歳(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第1週(12月29日～1月4日)、2026年第2週(1月5日～1月11日):通巻第28巻第1・2合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(17.64)、埼玉県(14.87)からの報告が多い。

## インフルエンザ



		2026年 01週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	33,217	6,228	970	269	230	1,561	1,129	1,374	695
	定点当たり	10.35	7.86	17.64	9.28	9.58	14.87	7.38	4.89	4.79
新型コロナウイルス感染症	報告数	3,629	686	134	63	40	176	106	95	72
	定点当たり	1.13	0.87	2.44	2.17	1.67	1.68	0.69	0.34	0.50
急性呼吸器感染症	報告数	93,633	23,377	2,547	1,175	1,277	5,447	3,254	6,345	3,332
	定点当たり	29.12	29.18	46.31	40.52	53.21	50.91	21.27	22.50	22.07
RSウイルス感染症	報告数	677	118	15	6	14	19	9	33	22
	定点当たり	0.35	0.24	0.52	0.33	0.93	0.28	0.10	0.18	0.25
咽頭結膜熱	報告数	255	48	8	5	7	7	3	13	5
	定点当たり	0.13	0.10	0.28	0.28	0.47	0.10	0.03	0.07	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,600	468	57	17	13	113	69	140	59
	定点当たり	0.82	0.95	1.97	0.94	0.87	1.69	0.74	0.76	0.67
感染性胃腸炎	報告数	3,708	1,243	147	35	69	172	128	554	138
	定点当たり	1.90	2.51	5.07	1.94	4.60	2.57	1.38	2.99	1.57
水痘	報告数	493	129	21	4	4	41	9	31	19
	定点当たり	0.25	0.26	0.72	0.22	0.27	0.61	0.10	0.17	0.22
手足口病	報告数	68	15	6	-	-	4	1	3	1
	定点当たり	0.03	0.03	0.21	-	-	0.06	0.01	0.02	0.01
伝染性紅斑	報告数	210	19	2	1	-	3	1	10	2
	定点当たり	0.11	0.04	0.07	0.06	-	0.04	0.01	0.05	0.02
突発性発しん	報告数	141	36	4	3	2	11	3	10	3
	定点当たり	0.07	0.07	0.14	0.17	0.13	0.16	0.03	0.05	0.03
ヘルパンギーナ	報告数	18	5	2	-	-	1	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.07	-	-	0.01	-	0.01	-
流行性耳下腺炎	報告数	22	6	1	-	1	2	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.03	-	0.07	0.03	-	0.01	0.01
急性出血性結膜炎	報告数	3	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.07	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	68	20	4	-	4	3	1	5	3
	定点当たり	0.13	0.17	0.31	-	0.80	0.21	0.04	0.19	0.11
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	3	1	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.02	0.03	0.08	-	-	-	0.11	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	14	4	-	-	-	-	1	1	2
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	-	0.11	0.04	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	205	39	12	3	12	3	2	6	1
	定点当たり	0.43	0.45	0.92	0.43	1.33	0.25	0.22	0.24	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



# 全国・関東情報

第2週 (1月5日～1月11日)

令和8年1月28日

## <全国情報>

**急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,793)**:インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(31.32)、鹿児島県(23.51)、高知県(20.29)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,081例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(46例)、1～9歳(142例)、10代(42例)、20代(36例)、30代(24例)、40代(18例)、50代(61例)、60代(87例)、70代(174例)、80歳以上(451例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(5.23)、福島県(4.60)、栃木県(3.36)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は648例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(20例)、1～9歳(11例)、10代(5例)、20代(8例)、30代(10例)、40代(20例)、50代(24例)、60代(48例)、70代(166例)、80歳以上(336例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,775)定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(71.82)、栃木県(71.47)、群馬県(69.78)である。

**小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,301)**:RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は和歌山県(1.33)、北海道(1.16)、奈良県(1.13)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.27)、島根県(1.09)、鹿児島県(0.84)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は茨城県(5.86)、愛媛県(4.10)、島根県(4.00)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(12.24)、宮崎県(10.67)、岐阜県(8.56)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(2.30)、秋田県(1.62)、島根県(1.36)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.29)、福井県(0.24)、熊本県(0.15)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.06)、熊本県(1.44)、愛媛県(1.40)、宮崎県(1.40)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は長崎県(0.10)、秋田県(0.08)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は京都府(0.08)、福島県(0.07)、富山県(0.07)、福岡県(0.07)である。

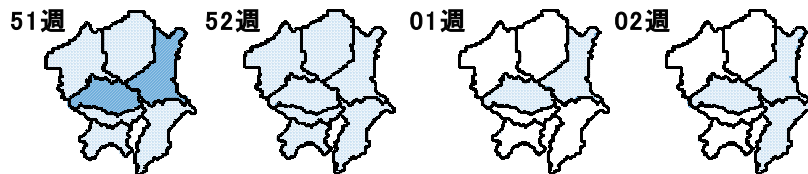
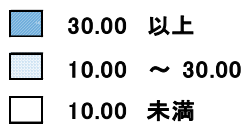
**基幹定点報告疾患**:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.00)、秋田県(1.88)、京都府(1.43)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。11都道府県から13例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(7例)、10代(2例)、40代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第1週(12月29日～1月4日)、2026年第2週(1月5日～1月11日):通巻第28巻第1・2合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(11.40)、千葉県(11.20)、埼玉県(10.90)からの報告が多い。

## インフルエンザ



		2026年 02週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	39,996	10,472	764	370	380	1,886	2,027	2,867	2,178
	定点当たり	10.54	8.97	11.40	7.87	8.44	10.90	11.20	6.86	9.19
新型コロナウイルス感染症	報告数	5,994	1,686	177	158	74	366	262	341	308
	定点当たり	1.58	1.44	2.64	3.36	1.64	2.12	1.45	0.82	1.30
急性呼吸器感染症	報告数	201,687	66,935	4,489	3,359	3,140	11,188	10,852	19,652	14,255
	定点当たり	53.43	57.65	67.00	71.47	69.78	64.67	61.31	47.01	60.92
RSウイルス感染症	報告数	1,209	213	13	18	11	40	25	70	36
	定点当たり	0.53	0.30	0.35	0.67	0.44	0.37	0.23	0.27	0.26
咽頭結膜熱	報告数	650	121	13	6	13	36	10	35	8
	定点当たり	0.28	0.17	0.35	0.22	0.52	0.33	0.09	0.13	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,680	1,546	217	67	38	233	306	423	262
	定点当たり	2.03	2.18	5.86	2.48	1.52	2.16	2.78	1.61	1.88
感染性胃腸炎	報告数	13,293	5,553	267	156	306	831	815	2,099	1,079
	定点当たり	5.78	7.83	7.22	5.78	12.24	7.69	7.41	7.98	7.76
水痘	報告数	1,308	361	24	19	12	65	41	125	75
	定点当たり	0.57	0.51	0.65	0.70	0.48	0.60	0.37	0.48	0.54
手足口病	報告数	82	22	-	-	-	6	1	13	2
	定点当たり	0.04	0.03	-	-	-	0.06	0.01	0.05	0.01
伝染性紅斑	報告数	852	80	-	4	4	12	21	19	20
	定点当たり	0.37	0.11	-	0.15	0.16	0.11	0.19	0.07	0.14
突発性発しん	報告数	583	179	8	7	9	33	22	73	27
	定点当たり	0.25	0.25	0.22	0.26	0.36	0.31	0.20	0.28	0.19
ヘルパンギーナ	報告数	36	8	-	2	-	1	3	2	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	0.07	-	0.01	0.03	0.01	-
流行性耳下腺炎	報告数	65	22	-	1	1	2	3	9	6
	定点当たり	0.03	0.03	-	0.04	0.04	0.02	0.03	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	7	3	-	-	-	2	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	453	129	27	9	3	21	20	15	34
	定点当たり	0.66	0.63	1.59	0.75	0.30	0.49	0.61	0.38	0.68
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	4	-	-	-	1	1	1	1
	定点当たり	0.02	0.05	-	-	-	0.08	0.11	0.04	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	16	8	1	2	-	1	-	1	3
	定点当たり	0.03	0.09	0.08	0.29	-	0.08	-	0.04	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	319	62	17	5	12	5	3	14	6
	定点当たり	0.66	0.71	1.31	0.71	1.33	0.42	0.33	0.56	0.50
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	13	5	-	1	-	2	-	1	1
	定点当たり	0.03	0.06	-	0.14	-	0.17	-	0.04	0.08

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)



## 感染症発生動向調査 2026年

▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)

▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)

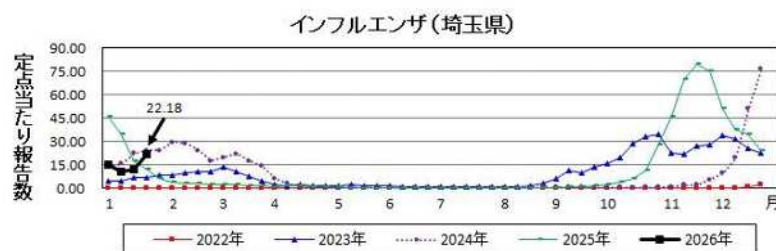
▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)

## 感染症の流行状況 2026年 第4週

2026年第4週（1月19日～1月25日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加しました。

感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★
<a href="#">急性呼吸器感染症</a>	↑	—	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）\*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が増加となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。

